

科目名 (科目番号)	病理学総論	教員名	病理学外部講師	学科等	理学療法	必修	履修年次	2
	(時間割参照)			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
				授業形態	講義	オフィスアワー	非常勤	
授業概要	理学療法を実践していく上で、疾患に対する基礎的な知識を持つことは重要である。本授業では疾患の成り立ちについてその原因、機序、時間経過と帰結を理解することを目標に、病理学を通して分子レベル、組織レベル、臓器レベルから個体レベルにわたって概説を行う。							
目的・目標	目的:病理学の基盤となる考え方を学び、人体に影響を及ぼす疾患の基礎から理解する 目標: ①:疾患の成因を理解する。 ②:臓器や器官の特徴、役割を理解する。③臓器や器官の正常と異常を理解し、疾患との関わりを理解する。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	病理学で学ぶこと	到達目標:病気とはなにか、また病理学が医療や医学に果たす役割について理解する 学習内容:病気の原因(内因、外因)、公害病・医原病・職業がん、病気の分類を学ぶ					
	2	代謝異常	到達目標:代謝障害の病態を理解する 学習内容:代表的な代謝障害を学ぶ					
	3	循環障害	到達目標:循環異常(充血、うっ血、虚血、血栓症、出血、梗塞、ショック、浮腫等)の機序について理解する 学習内容:充血、うっ血、虚血、血栓症、出血、梗塞、ショック、浮腫、止血機序を学習する。					
	4	細胞傷害・炎症総論	到達目標:細胞障害の現象、原因、機序を理解する。また、炎症では生体内でどのようなことが生じているかを細胞・分子レベルで理解する 学習内容:細胞損傷と適応、組織の修復・創傷治癒を学ぶ。また、炎症の原因と経過について学ぶ。					
	5	炎症各論・免疫異常	到達目標:免疫の異常により生体内でどのようなことが生じるかを細胞・分子レベルで理解する 学習内容:代表的な炎症性疾患について学習する。免疫のしくみや代表的な免疫異常疾患を学習する					
	6	腫瘍	到達目標:腫瘍とはどのようなものか原因や特徴(浸潤、転移)を含め理解する 学習内容:良性腫瘍・悪性腫瘍の違い、癌と肉腫、それらの特徴の違いを学習する					
	7	先天異常・遺伝子異常・老化	到達目標:個体の老化、死、先天異常、遺伝子・染色体の異常とはどのようなものかについて理解する 学習内容:ヒトの老化、加齢、死の定義、先天異常、遺伝子異常、染色体異常などの代表的疾患などを学習する。					
	8	感染症	到達目標:感染と宿主の防御機構、予防について理解する 学習内容:代表的な感染症を学習する					
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)【対面・オンライン共通】							
教科書	病理学 系統看護学講座 専門基礎分野(疾病のなりたちと回復の促進 1)			大橋健一、谷澤徹、柴原純二、藤原正親		医学書院		
参考図書								
教員からのメッセージ	しっかりと復習して、病理学総論の基本原則を体系的に習得する。 複数の外部講師で行うため、授業順番は変更があります。 病院勤務をしている、病理医師・病理検査技師がこの講義を担当します。							